

「ロケット」という 新たな魅力が 串本に生まれた

location
[夢は宇宙へと続く]
universe



①串本町大島檜野崎灯台よりロケット発射場方向を指差す宇井さん。②串本から大島に向かいそそり立っている橋杭岩。その姿はまるで橋脚のよう。③ラムサール条約にも登録されている串本の海。世界でもっとも北にあるサンゴの海中世界が広がる。本州最南端である串本は、美しい絶景に満ちている自然豊かな町である。



④⑤串本町ではロケット発射場への認知を深める為、観光ガイドに講習会を行い、宇宙ガイドを養成。その後、町内の小・中・高校でワークショップを開催した。⑥4月1日から運行されているロケットの絵がラッピングされた町営バス。発射場近くの「佐部・上田原線」を運行する。
一般社団法人南紀串本観光協会 電話/0735-62-3171

令和3年度中の打ち上げを目指す中で、串本町では「ロケットの発射に様々な期待が集まっている。そのひとつが観光資源としての魅力だ。」スペースポート紀伊は日本初の民間ロケット発射場であり、発射場そのものが本州に建設されるのも初めて。そして最も特徴的なのは、極めて人と近い距離にあるということ。

「串本町には、ダイナミックな自然が身近にあります。ダイビングやカヤック、ホエールウォッチングなどが人気の観光コンテンツです。そこに「ロケット」が身近な距離にやってきます。地形的に発射点自体を直接見ることができませんが、最も近い見学場は2キロほどの所にあり、ここまで近寄れるのは世界的にも珍しいと言われています」と語るのは南紀串本町観光協会の宇井晋介事務局長。「船を使って海上から見たり、大島から陸上で見たりと、多くの方に楽しんでもらえるように見学場所を準備しています。カヌーに乗りながらロケットの発射を見るとか、間近で聞く発射時の音は凄いだらうとか、想像するだけでワクワク。また発射も年20回ほどになる可能性もあり、見学の機会も多くなるので観光資源として非常に魅力的です。」

とはいえ課題も多い。「1番に考えられるのは発射時間の流動性です。発射の延期は旅行者のプログラム変更を余儀なくします。また見学場所の整備や国道42号の渋滞緩和などやるべきことはたくさんありますが、未知の体験なのでわからないことだらけです。」

しかしロケットの恩恵は大きく、観光だけでなく、雇用機会の増大にも繋がると考えられている。「すでに橋杭岩近くに新しいホテルができ、飲食店などの周辺施設も今後増えてくるでしょう。またロケットの組立や発射に関連する新しい工場など必要となるかもしれません。さらには子供たちが「ロケット」や「宇宙」を身近に感じ興味を持って学ぶ事で、関連する技術者や研究者、また宇宙飛行士への道が広がる可能性もあります」と語る宇井さんの視線の先には、希望の星々が輝く宇宙が見えている。

小中・高校のワークショップで使用されたロケット教本。